

2024年6月13日

各 位

油 研 工 業 株 式 会 社
総 務 部
(TEL 0467-77-2111)

日刊工業新聞掲載記事のご紹介

2024年6月7日発行の日刊工業新聞に、当社の企業価値向上に向けたグループ戦略に関する記事が掲載されましたのでご紹介いたします。

なお、当該記事の当社ホームページへの掲載にあたっては、日刊工業新聞社から著作権利用の許諾を受けております。

以 上

油研、インド増産投資

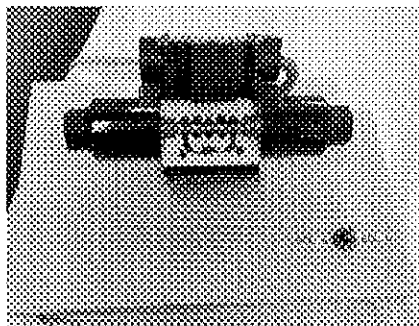
ギアポンプなど1.5倍

油研工業はインド子会社（ベンガルール）で、2028年3月期までに約20億円の設備投資を行う。内需が旺盛な建設機械向けギアポンプ、産業機械向け電磁弁などの生産能力を従来比1.5倍に高める。加えてインドで内製化するポンプ用の鋳物や中核部品などを年度内にも、日本などのグループ拠点への供給を始める。成長する現地で製品を拡販する一方、連結の変動費の抑制につなげていく。

グループ拠点に部品供給

油研工業は油圧ポンプや制御弁、油圧ユニット、環境機器を手が

ける。25年3月期連結売上高の予想は前期比13.5%増の約335億円で、インドは前期比2割強と大きな伸びを見込む。この傾向は数年続いており、全世界の売り上げの2割弱を占めそう



▲油研工業が手がける産業機械向け電磁弁

だ。インド子会社は設備投資に当たって23年に13億円の増資を行った。インドでは建設機械、農業機械など産業用モビリティ向けが成長しており、このためのギアポンプ専用工場などを整備する。一方、グループ拠点に供給するスプール（弁体）など中核部品の製造を軌道に乗せる。

鋳物や、バルブに内蔵して流体の動きを制御するスプールなどは一部に供給しているが、日本など各拠点への供給開始を前に現在、最終検査を行っている。日本などでは一部だが順次切り替えていく。同社は中長期の企業価値向上のため品質、供給量を担保し、世界的なサプライチェーン（供給網）構築を推進中だ。インドでの内製化を手始めにこの取り組みに拍車をかける。